

一般質問

第２回定例会では、１３人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。
今定例会での一般質問の要旨は、期限までに提出があった原稿を掲載しています。

議会を動画で見よう！
- ◆インターネットでは録画配信している本会議全体の様子がご覧になれます。
- ◆スマートフォンやタブレット端末などで、右側にある二次元バーコードをカメラで読み取り、表示された文字を押してみてください。
- ◆一般質問は、一般質問記事の内側にある二次元バーコードを読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。

南島原市議会　中継

島原半島西回り道路の早期実現について

議員　構想路線から個別路線調査へ進め、時間雨量30ミリで通行止めとなる国道２５１号権田―赤間間の先行整備を、国・県へ働きかける考えは。

市長　島原半島西回り道路は市民生活を支える「命の道」である。権田―赤間間は緊要性が高く、先行着手という形で取り組みたい。雲仙市とも連携し、国・県へ働きかける。

と認識し、市全体で体制づくりを考える。



命の道（生成AI画像）

質問の様子を動画で見よう

介護・福祉のまちづくりと介護基盤の確保について

議員　「魅力と競争力のある介護・福祉のまち」を、事業者や職員の声を聴きながら進める考えは。また、人材確保や、加津佐町で減少する入所機能をどう考えるか。

市長　関係者の意見を聴く場を設け、実現可能性の高いものから取り組む。市外からの人材や外国人材を含め、住居、資格取得、研修、生活面などの多角的な定着支援を検討する。入所機能の減少は、高齢者と家族の安心した生活に関わる重大な課題果目標を定め、進捗を議会や市民等の参画やアドバイザー的な人材の登用も視野に入れる。自動運転は候補地域や路線、運行方法を検討し、交通事業者と協議して実証実験につなげたい。空飛ぶクルマも、機会があれば前向きに取り組みたい。

市長所信表明とDX推進アクションプランの整合及び次世代モビリティの実装について

議員　所信表明に掲げたAI、ドローン、自動運転などを、DX推進アクションプランにどう反映するのか。市民や事業者がDX施策に参画する仕組みを設け、自動運転や空飛ぶクルマの実証実験に取り組む考えは。

市長　所信表明とDX推進基本方針の整合を図り、必要に応じてアクションプランの見直しや項目追加を行う。事業ごとに成



日向栄司 議員

「命の道」島原半島西回り道路の早期実現へ

市長　権田―赤間間の先行着手に取り組みたい。

人口減少対策について

市長　危機感を持って取り組まなければならない問題だと思う。



酒井光則 議員

道路網の整備について

議員　国道２５１号の通行止め時、迂回路となる広域農道は草木や竹が覆い被さり通行に支障をきたしている。除草作業は行われているが、追いついていない。迅速な対応をお願いしたい。

農林水産部長　作業員４名で一年を通じて除草作業を行っている。通行に支障のある高い木や枝葉については、優先順位を定めて適正に管理したい。

医療供給体制の確保について

議員　医療機関の相次ぐ閉院により加津佐町は無医地区となっている。市民が住み慣れた地域で安心して住み続けられるためには、医療を確保することが必要だ。今後どのような医療供給体制を講じる考えなのか。

市長　加津佐町には医療機関がないという状況なので、早いタイミングで医療サービスができるようにしなければならないと考える。

農業振興について

議員　農業は、地域経済を支え、農村環境を守り、地域を維持するために重要な基幹産業だ。しかし、農業者の高齢化、担い手不足、生産資材の高騰、気候変動など農業を取り巻く環境は厳しいものがある。これからの南島原市の農業をどの様に位置づけ、次の世代に残して行こうと考えるのか伺う。

市長　あらゆる手段を通して農業を魅力ある産業にしていく必要がある。

農地基盤整備事業について

議員　本市農業の将来を左右する基盤整備事業の推進について、基本的な考えは。

市長　農地の基盤整備事業は農業の振興を図るために非常に重要な施策と考えている。

スマート農業について

議員　スマート農業をどの様に位置づけ、農家への普及、導入を進められるのか考えを伺う。

市長　地域の特性に適したスマート農業を普及させて所得向上につなげたい。

その他の質問

○有害鳥獣対策について
○耕作放棄地対策について



ドローンによる防除作業（生成AI画像）

エバーグリーンに振り込んだ9千万円の返還について

市長　弁護士とも相談し対応する



田中次廣 議員

市長の所信表明について

議員　所信表明に、ごまかさず、すぐ動く市役所に変えるとあるが。

市長　何かあったときすぐそこに行き、現場で確認し解決策を探るということになる。私も含め対応していくということ。ごまかさずというよりも、所信表明では誠実でという表現になっている。情報開示がまず最初に来るわけで、常に市民の皆様、それ以外のマスコミ等に対しても情報開示の姿勢、スタンスは貫いていきたいと思っている。

サテライトオフィス事業について

議員　工事に関わった下請業者を刑事告発を行っているが、進捗状況は。

地域振興部長　警察においては、捜査をされたが、犯罪事実を認定するに足る証拠の確認はできていないとのことで、告発状の受理には至っていない。

議員　市長は必要があれば刑事告訴、民事回収などの法的措置を視野に真相解明と資金回収を進めるとの事であるが、仮に9千万が返還されない場合、市長はどのような対応を考えているのか。

市長　一般論的な話をすると、民事と刑事を絡めながら資金回収を図らないと難しいと思っている。構成要件を調べながら告訴できないか検討を行うということ。民事についても、お金がなくなっているのは市。今のエバーグリーンに対する不当利得返還請求だが、これ一本でどこまでやっていくのかは検討しないといけないと感じている。係争中なので弁護士とも相談をする。

質問の様子を動画で見よう

自転車歩行者専用道路整備事業について

議員　当初の事業費35億が現在70億になっているが、令和10年3月完成するのか。

建設部長　事業費70億で、令和9年度末に完成する。

議員　有馬川等の橋梁工事において会計検査で指摘を受け工事のやり直しを行うがどの程度の金額が必要なのか。

建設部長　約3億円と見込んでいる。会計検査で指摘を受けた分は補助対象外となる。

有馬川の橋梁